

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第45週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 2 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	肺結核	呼吸困難、血痰
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
			90 歳代	男	無症状病原体保有者	—
		日南	90 歳代	男	結核性胸膜炎	咳、呼吸困難
		高千穂	40 歳代	女	無症状病原体保有者	—
		中央	60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	つつが虫病	都城	70 歳代	女	—	頭痛、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30 歳代	男	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸 ワクチン接種歴なし
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	50 歳代	男	—	胆管炎
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20 歳代	男	AIDS	発熱、咳嗽 指標疾患：ニューモシスティス肺炎
		都城	40 歳代	男	AIDS	肺炎、呼吸不全 指標疾患：ニューモシスティス肺炎
	梅毒	宮崎市	30 歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 695 人 (定点当たり 21.3) で、前週比 112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 70 人(1.2)で、前週比 108%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.03) の約 40 倍である。小林(3.4)、高鍋(2.7)、日向(2.5)保健所からの報告が多く、年齢別は 10 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

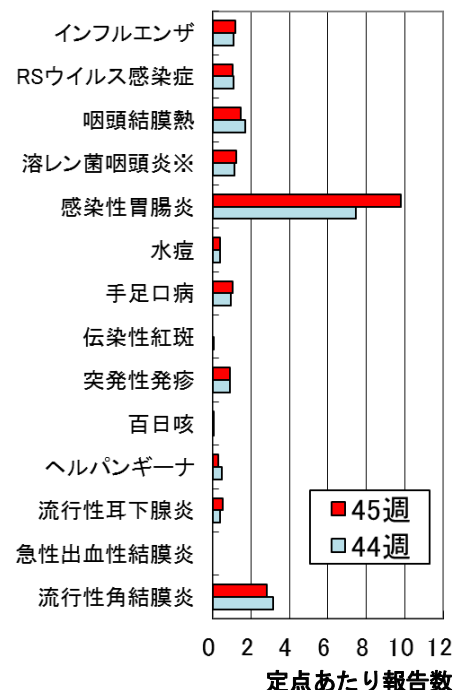
【咽頭結膜熱】

報告数は 53 人(1.5)で、前週比 85%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値* (1.0) の約 1.4 倍である。中央(5.0)、都城(4.8)、小林(4.3)保健所からの報告が多く、年齢別は 1~4 歳が全体の約 7 割を占めた。

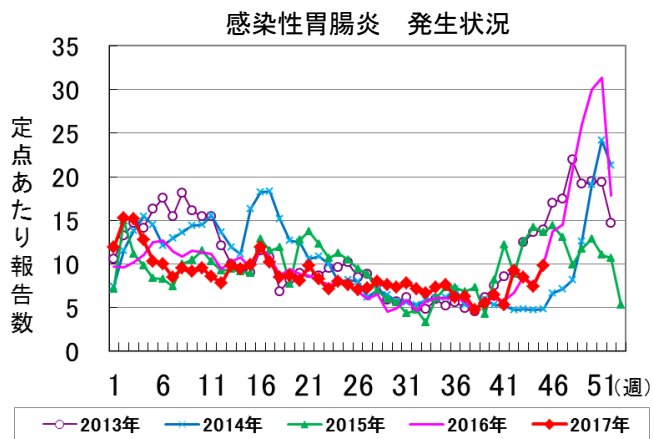
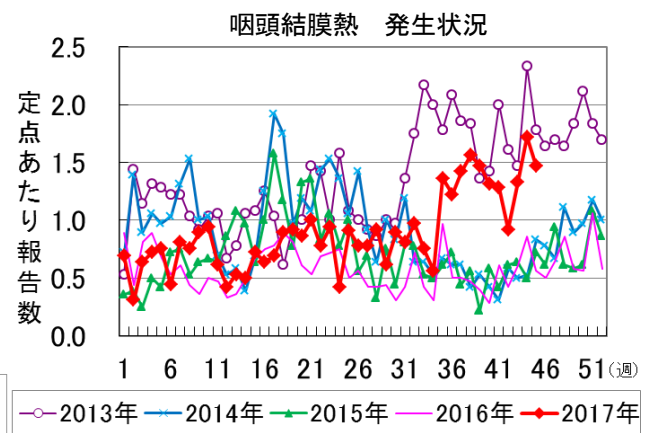
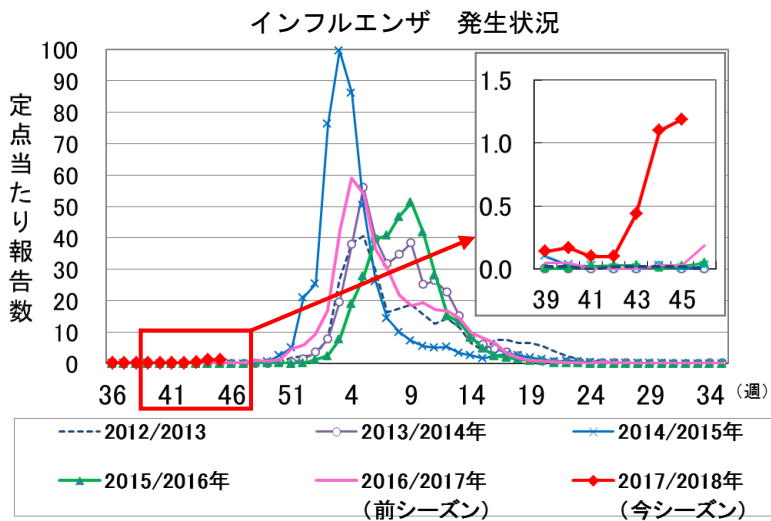
【感染性胃腸炎】

報告数は 352 人(9.8)で、前週比 131%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (12.5) の約 0.8 倍である。延岡(15.3)、日南、小林、日向(14.0)保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 4 割を占めた。 * 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(1例)、高鍋(2例)保健所から報告があり、いずれも5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(4.8)
延岡	なし
日南	なし
小林	咽頭結膜熱(4.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(5.0)

流行警報レベル開始基準値

・咽頭結膜熱(3.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 44 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	298 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	72 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	2 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	6 例
4類感染症	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例	マラリア	4 例
	レジオネラ症	52 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例
	水痘(入院例)	2 例	梅毒	49 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 93%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

インフルエンザの報告数は2,407人(0.49)で前週比136%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.21)の約2.3倍である。沖縄県(4.0)、長崎県(1.9)、福井県(1.8)からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約4割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は1,621人(0.51)で前週比96%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値*(0.29)の約1.8倍である。北海道(2.7)、山形県(2.2)、宮崎県(1.7)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

● 次回の感染症週報は祝日の関係上、11月22日発出となります。

ご了承ください。

月報告対象疾患の発生動向 <2017年10月>

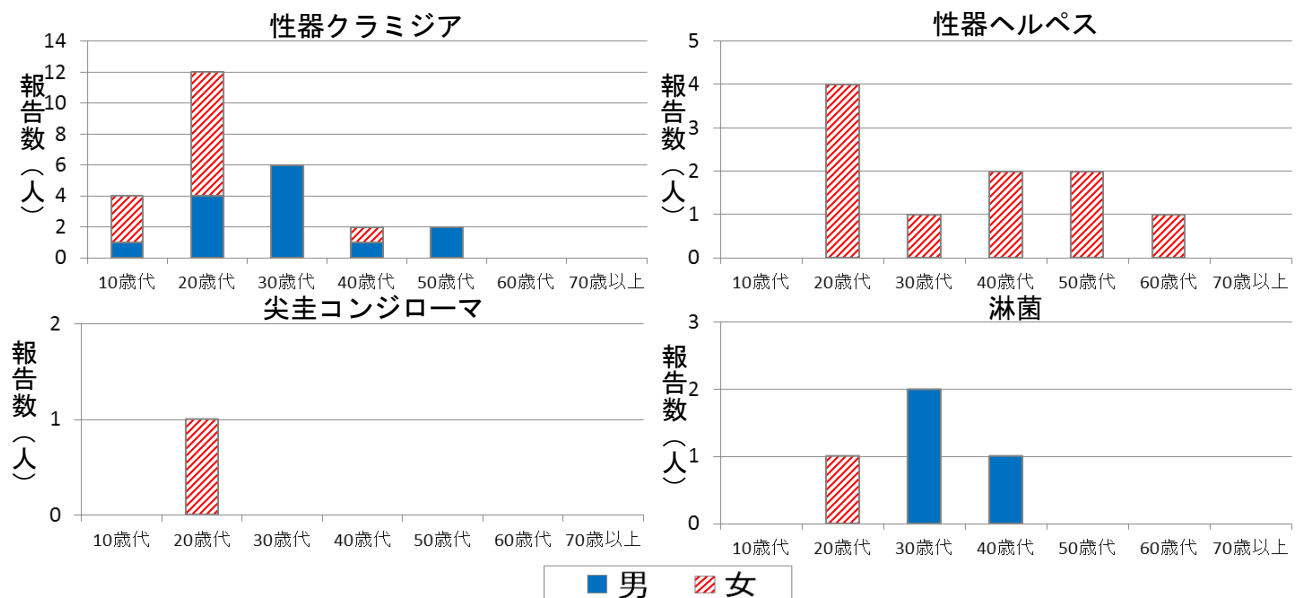
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人(3.2)で、前月比108%と増加した。また、昨年10月(3.2)とほぼ同率である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.1倍である。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性14人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.4倍、昨年10月の5.0倍である。20歳代が全体の4割を占めた。(女性10人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年10月と同率である。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.4倍、昨年10月の約0.3倍である。(男性3人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：987

定点医療機関からの報告総数は4,195人(4.3)で、前月比101%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,252人(2.3)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症803人(0.81)で前月比111%、尖圭コンジローマ441人(0.45)で前月比96%、淋菌感染症699人(0.71)で前月比95%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人(3.9)で前月と同率である。また昨年10月(2.1)の約1.8倍である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人(3.9)で、前月とほぼ同率で、昨年10月の1.8倍である。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：475

定点医療機関からの報告総数は1,544人(3.3)で、前月比101%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,386人(2.9)で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症148人(0.31)で前月比89%、薬剤耐性緑膿菌感染症10人(0.02)で前月比200%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第45週(11月6日～11月12日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	65	70	7	1	13	1	17	16		15	
	定点あたり	1.10	1.19	0.44	0.10	1.86	0.20	3.40	2.67	0.00	2.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	39	38	5	7	7	11	4	1		3	
	定点あたり	1.08	1.06	0.50	1.17	1.75	3.67	1.33	0.25	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	62	53	3	29		1	13	1		1	5
	定点あたり	1.72	1.47	0.30	4.83	0.00	0.33	4.33	0.25	0.00	0.25	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	41	45	23	5	6	1	2		1	3	4
	定点あたり	1.14	1.25	2.30	0.83	1.50	0.33	0.67	0.00	1.00	0.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	268	352	77	33	61	42	42	20	13	56	8
	定点あたり	7.44	9.78	7.70	5.50	15.25	14.00	14.00	5.00	13.00	14.00	8.00
水痘	報告数	15	14	5	1	4	2				1	1
	定点あたり	0.42	0.39	0.50	0.17	1.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	35	37	13	10	2	2	2	1	1	6	
	定点あたり	0.97	1.03	1.30	1.67	0.50	0.67	0.67	0.25	1.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	32	9	5	1	7	6	2		2	
	定点あたり	0.89	0.89	0.90	0.83	0.25	2.33	2.00	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数	2	3	1							2	
	定点あたり	0.06	0.08	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	18	11	1	4	1	1	3			1	
	定点あたり	0.50	0.31	0.10	0.67	0.25	0.33	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	20		8	4	5				3	
	定点あたり	0.42	0.56	0.00	1.33	1.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	17	7	8	2						
	定点あたり	3.17	2.83	2.33	4.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		3	1					2			
	定点あたり	0.00	0.43	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～45週)

2類感染症	結核	166例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	7例(1)
	日本紅斑熱	7例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	4例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例(1)
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	10例(2)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	14例(1)	破傷風	5例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲